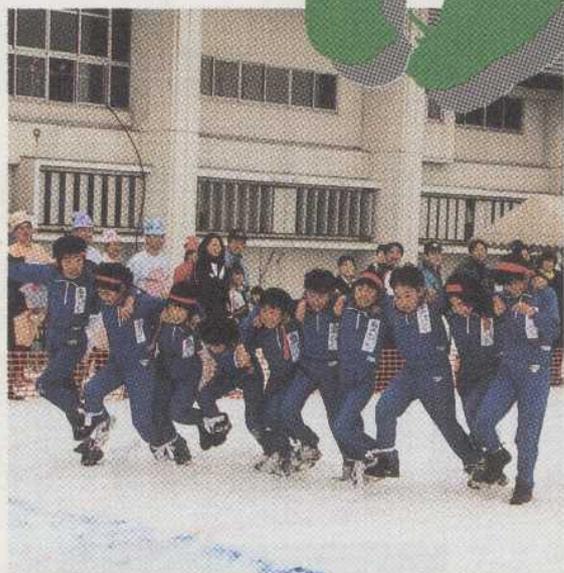


新刊



雪まつり

観客を沸かした10人11脚



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL0257-68-3111 FAX0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社 (毎月10日発行)

人口の動き

— 4月1日現在 —

男 4,160 (-12)

女 4,223 (-19)

計 8,383 (-31)

世帯数 2,253 (-1)

() は前月比較

議会報告

三月二日から始まった第二回川西町議会定例会は、二十四日全日程を終え閉会しました。

三日、町長の施政方針と新年度予算の提案説明があり、以後、各常任委員会の調査を経て、二十三日、平成十一年度川西町一般会計予算と六特別会計、一つの事業会計が成立しました。また、田口副議長の辞職が許可されました。田口さんの議員歴は十二年七月です。

二十四日には、川西町屋内体育施設の設置及び管理に関する条例ほか三件の新設条例と、川西町職員定数条例の一部を改正する条例ほか二件の条例一部改正、新潟県町村人権事務組合を組織する地方公共団体の数の減少および規約の変更ほか一件の規約、平成十年度川西町一般会計補正予算(第七号)と平成十年度川西町地域振興券交付事業特別会計補正予算(第一号)、財産の取得が原案とおり可決され全日程を終りました。

南雲町長の平成十一年度施政方針から、その概要を紹介いたします。

平成十一年度は、まちづくりの基本方向を「快適な暮らしの中に、安らぎと感動のあるまちづくり」と定めた「第五次川西町総合開発計画」の第四次となります。総合開発計画では、戦略的なまちづくりの手法として、新しい町の顔を創るプロジェクト事業の推進をうたっており、地域シンボルゾーンとなる「賑わい空間整備事業」、「仙田地域総合整備事業」そして「里創プラン川西ステーション整備事業」を十一年度の施策の三本柱としたところであります。

夢を育む人づくり

少子高齢化、国際化、情報化という社会現象がますます顕在化するとともに、長期化している不況を背景にした社会不安など、現代社会を取り巻く環境は激動しております。この環境にあつて、町民の皆様一人ひとりの幸せの原点を考えるに、心の通う家族のきずなや地域の連帯が何よりも大切と痛感するものであります。インターネットなどハイテク社会にあつても、心と心の触れ合いがなければ無機質な砂漠化社会になってしまふ恐れがあります。

このため、心豊かで創造性あふれる人づくり、そして「画一化」



去年8月、中国黒龍江省への生徒派遣交流の練習風景から

ではなく、「個性を伸ばす、個性を認める」視点を持つての人づくりが欠かせません。この人づくりこそが、町民個々の幸せを創造することとなり、ひいては自立的なまちづくり、活力ある二十一世紀のわが町、川西町を創る源になる

と考えるものであります。

学校教育の分野では、三年後の平成十四年度から小中学校の週五日制が完全実施されます。これに合わせ、「ゆとりと自ら学び考える力」を目指した新学習指導要領案が昨年十一月に公表され、十一年度には各学校において準備が始まります。

子供たちを取り巻く社会世相の影響として、教育現場で不登校やいじめが発生しており、心の話室、電話教育相談など心の教育推進事業をさらに充実させ対応いたします。不登校対策面では、関係者の地道なご努力をいただき、おかげさまでかなり成果が上がって

いることをご報告申し上げます。

また、町内小中学校では「あいさつ運動」を展開中であり、しかし、学校内の運動に止めず、子供と心を通わせる、お年寄りと心を通わせるものとして、家族ぐるみ、地域ぐるみで、積極的に参加していただきたいと考えております。ほんのチョットした一言の声掛けが、お互いに心を暖かくし、心のボーナスという価値を生み、心の日曜日という時間を与えてくれます。

人、十年前の昭和六十三年が八十一人、平成十年度は五十六人の見込みとなっております。「地域活力は子供たちの笑い声から」という言葉もありますが、地域の発展にとってゆゆしい事態となつてきております。子宝祝金は些少ではありますがありますが、地域の宝として子供の誕生を祝い、子育てを支援するものであります。その他の乳児・幼児医療費助成事業、保育料の三割程度の軽減措置、奨学金貸与事業などの子育て支援施策と相まって、効果が出現することを祈念するものであります。

健康で安心して暮らせる地域づくり

川西町の本年二月一日現在の六十五歳以上人口は、二千二百五十八人、高齢化率は二六・八パーセントで、前年に比べ〇・七ポイントの増加となり、高齢社会が一層進展してきております。

老後生活の最大の不安要因とされる介護の問題について、社会全体で支えようという介護保険制度は平成十二年四月一日スタートとなります。

受け皿となる施設の基盤については、平成十年度の事業として、あかね園に短期入所施設の十床増床工事とデイサービスセンター整備事業を実施し、合わせて町有デイサービスセンターの大規模改造を図つたところであります。

ソフト的な部分では本年十月から、保険証の交付、介護認定申請の受付、認定にかかる調査、審査を開始いたします。また、提供できる介護サービスの内容に応じた介護保険料も決定しなくてはなりません。このため、制度の住民周知、介護保険事業計画の策定、関係条例等の制定、保険業務管理のコンピュータシステムの構築など、膨大な準備事務を大車輪で進めているところであります。

さらに、介護保険が始まると、町の措置による特別養護老人ホームへの入所や、町の委託によるデイサービス、ホームヘルプサービス、短期入所の各事業がサービス提供事業者自らの事業として実施されることとなります。このような変更点もありますので、町とサービス提供事業者の双方に遺漏なきよう準備を進めております。さて、介護保険制度がスタート

しても、できるだけ寝たきりにならないで自立した生活を続けられることが、町民の皆様の大きな願いであると考えます。

平成十年度から、寝たきりにならない健康づくり事業として、水中運動教室を実施しております。膝が悪くてもプールの中で浮力を得ながら、水の抵抗を受けながら筋力を付けられるということから極めて好評で、現在百三十七人の方から参加をいただいております。健康づくりはご自分のためでありますので、もっと多くの方々からお気軽に参加いただければと思っております。

なお、水中運動をねらいとした温水プールの整備については、場所や財源手当などについて検討した結果、平成十二年度以降の賑わい空間整備事業の中で、優先的な事業として実施したいと考えるものであります。

去年9月から開かれている、水の浮力を活用した健康づくり「水中運動体験教室」のよう



分の一にまで育ってきております。また、福祉産業は他産業に比べ人件費率の比重が高く、雇用創出の効果が特に大きいわけで、今後、介護保険が始まると福祉サービスの拡大とともに雇用も拡大し、地域経済にも大きな貢献があるものと期待しております。

働く喜びにあふれる産業づくり

本年度は、新しい農業基本法の制定によって国の農政の基軸が転換することや、四月一日から米の関税化が始まるなど、大きな農業変革の動きがあります。

また、川西町でも、農業後継者難や就農者の高齢化などをはじめ、内外の情勢の変化が顕在化するなかで、従来からの営農システムを継続するばかりでは地域農業を維持・発展させることは大変厳しい状態となつてきています。このことを踏まえ、具体的な対応を実行しなければならぬ段階と深く認識するものであります。

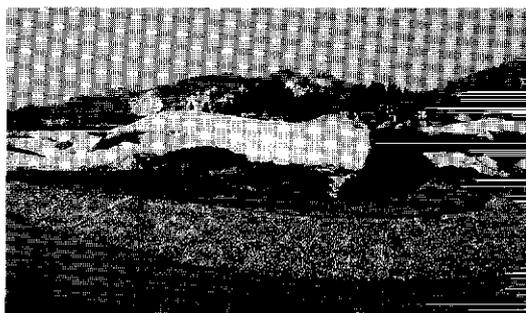
そこで、農業費においては、農業構造政策の中心である担い手対策の一層の進捗を図るべく、昨年設置した各地区の「営農委員会」の本格的活動のための支援強化を図ります。合せて、東部地区では、今後、農業の経営体が効率的な営農を実施するためには「管理しやすい農地づくり」が必須条件となりますので、生産基盤施設の再整

備のための計画調査に対しても助成を行います。

仙田地区に展開する中山間地域総合整備事業は三年目に入り、いよいよ事業の中核施設である仙田体験交流館の用地造成と付帯施設の建設に着手いたします。なお、本施設は仙田地区の皆さんによる地域づくりの拠点としても活用される予定であります。

さて、新潟川西農業協同組合では、農協合併を控えて経営改善三か年計画を実行中ではありますが、厳しい経営環境の中で二年目を迎えた経営改善を一層徹底するべく、執行体制の強化を図っていただいております。このことを受け、町はJA再建のための支援を具体化したしました。

林業費では、町行分収造林地について、三か年かけて実施した成育度調査の結果を踏まえて、今後の施設管理方針の抜本的改正を行いました。その結果、本年度から生産目標の基本を大径一般材と定め、施設体系を切り替えます。これに伴い育林作業は、造林地の成育状況に応じて適期に効率的な保育管理を行うことにより、従来の直管作業員による通年管理方式を廃し、適期に必要な箇所だけ管理する委託方式に変更いたします。中小企業者に対する不況対策としては、金融安定化等特別保証補助金支給事業を実施いたします。これは、国や県が、金融環境の変



仙田地区に展開する中山間地域総合整備事業。先行して行われている河川整備

快適で美しい環境づくり

水道事業については、居住環境の改善や水質保全を目的に、長らく最重点事業として集中的に資本投下をしてきましたが、おかげさまで平成十年度末にはほぼ完了という状況となりました。合併処理浄化槽も含めると、十年度末の町全体の下水道整備率は九五・二パーセント、県下でもトップレベルとなり町民の皆様が誇りにできる整備率となっております。

化などにより資金調達に支障をきたしている中小企業者に対し、保証要件を緩和して信用保証料を引き下げた融資制度を創設したことに呼応するもので、信用保証料の全額を補助し、資金調達の円滑化を支援するものであります。昨年十二月補正から取り組んでおりますが、需要が多いため、平成十一年度においても引き続き実施したいと考えております。

なお、まだ下水道へつなぎ込みをしていないご家庭にありましては、早い機会につなぎ込まれることをお願い申し上げる次第であります。

衛生施設組合の事業については、新規に火葬場の建設に着手いたします。場所は十日町市踏坂地内であり、平成十三年四月の供用開始に向けて事業の進行を図って行く予定であります。ゴミ処理関係では、ダイオキシン対策を強化すべく焼却場の改善を図るほか、管理型最終処分場整備に向けての既設処分場のボーリング調査、また、循環型社会に向け平成十二年度からペットボトルを本格的に回収するための準備などを行います。

都市計画事業については、国は昨年、中心市街地の疲弊は大きな社会問題であるとして、中心市街地活性化法を制定しました。川西町も同様の事情にあり、この法律に乗りながら賑わい空間の整備を図りたいと対応しているところであります。

人々が賑わう魅力的な多機能複合空間をつくる賑わい空間整備事業については、「温泉を利用した健康増進と交流人口の増大」、「公共施設や商業施設の集積による利便性の向上」、「商業の活性化による定住促進と雇用の場の拡大」、「広く住民に安らぎと活力を与えてくれる住環境の整備」などを目的としております。高齢社会にな

っている過疎地川西町にとって急に実施しなければならぬ最重要な事業として、ポスト下水道事業として位置付けられるものであります。

開発エリアについては、長い検討経過を踏まえ、昨年暮れに決定させていただきました。現在は、用地取得に向けた物件調査とともに、エリア全体の基本設計者を選定するためのプロポーザルコンペを実施しているところであります。

平成十一年度は用地取得とともに基本設計の完了、そして一部施設の実設計に入り、平成十二年度には工事着工をと念願するものであります。

この事業の課題は、第一に用地取得にあります。現在居住されている区域を開発エリアとしているため、何よりも地権者の皆様方から深いご理解とご協力をいただかないと実現しないものであります。町といたしましては、最大限誠意を持って対応させていただきたいと考えております。

第二には、この事業が商業振興という狙いも大きいことから、関係事業者のこの事業へのかかわりについては、自らの事業として、さらに積極的に取り組まれることを期待するところであります。

第三には、財源手当てであります。現在町が保有している財政調整基金、まちおこし基金として文化会館建設基金を財源の柱とし、



3/25に実施された「賑わい空間プロポーザル競技」の審査会のようす

不足するところは、過疎対策債など優良債を選択しながら対応したいと考えております。民間施設部分については、基本的には受益に応じた負担をお願いするものであります。二十一世紀の川西町をキヤンパスに描くには、どうしても必要な事業と考えておりますので、広く町民の皆様のご理解を賜りたいと考えております。

また、関連して中屋敷地内に十三区画の宅地造成を行います。この事業については、賑わい空間整備事業の実施により移転を余儀なくされる方への移転先の確保とともに、一般住民の定住地を確保する過疎対策としての意味合いがあります。

**楽しさ広がる
ふるさとづくり**

現在、県と十日町地域広域六市町村で、「アート」をキーワード

お寄せください
あなたの
意見・提案・質問 (1~3月到着分)

(47歳・女性)

① 賑わい空間創出事業の始動に伴い、その区域内中心部に星の研究ができるドームや、子供からお年寄りまで楽しめる生涯学習センターを備えた、シンボルとなるタワー系の建物を建設してはどうか。

② 賑わい空間創出事業の区域内に設置が予定される施設は生涯学習センター、温泉健康施設などの公共的施設、共同店舗などの商業施設、郵便局・道路・公園などの公

共施設などです。人が集まりやすく利用しやすい施設にするために、これらの施設を有機的に結び付けることや、町のシンボリックな位置付けをどう表現するかが重要な課題の一つであると考えています。

そのために現在、企画を提案する競技(プロポーザル競技)を進めており、それによって基本設計の設計者を選出されることになっていきます。単に施設の設計だけでなく、その管理運営や整備の方法も十分考慮したいと考えています。

いずれにしても、多くの町民の皆様からご意見をお聞かせいただき、できるだけそれらを反映して

いきたいと考えています。このプロポーザル競技の提案図書などは公表する予定にしていますので皆さんからもご覧いただき、ご意見をお聞かせいただきたいと思います。

(40歳・男性)
① 役場に出かけたある日、庁内に入っても職員からはあいさつ(言葉)の一言もありませんでした。「こんにちは」「ご苦勞様です」どんな一言でもいいのです。何か一言あってもよいのではないのでしょうか。

② あいさつは、人々の暮らしの中では子供や大人を問わず最も基本であることは今さら申すまでもありません。

町でも職員教育の一環として計画的に接遇研修などを受講させ、日常業務の中に生かすべく指導をしているところです。しかし、このことが全職員一人ひとりに徹底されているかとなると、いささか心配な部分もごございます。

「ご苦勞様です」の一言であっても大事な住民サービスであることは十分承知しております。町民の皆様にご期待される職員を目指し、今後も引き続き徹底した職員教育を推進したいと考えています。



にして進めている里創プラン事業については、平成十年度から具体的な事業実施の段階に入っており、「写真」と「ことば」で妻有の魅力を引き出そうという「ステキ発見事業」や圏域全体を美しい花で満たそうという「花の道整備事業」が広域全体の事業として進められております。

市町村独自の顔をつくる「ステージ整備事業」については、個々の計画に沿って進められており、川西町においては、ナカゴクリーパークと節黒城跡及びキャンプ場を含む総合緑地公園を「川西ステージ」として位置付け、各施設の整備を進めているところであります。

平成十年度は、中子台地と節黒



里創プラン事業で建設されたコテージ

城跡を結ぶ連絡道の整備のほか、新進気鋭の建築家の設計によるコテージ二棟と、展望施設を含む遊歩道を整備したところであります。コテージなどは今までの既成概念にとられない、斬新で遊び心にあふれた施設となっており、雄大な自然景観と相まって、周囲一帯が大変魅力的な場所に生まれ変わっております。

十一年度は、さらに内容を充実させるため、節黒城跡キャンプ場にコテージ一棟と遊歩道を整備し、中子台地には、通年利用が可能なコテージ「光の館」を整備する予定であります。「光の館」については、世界的なアーチストで、西暦二〇〇〇年におけるアメリカの国家的記念プロジェクトにも取り組んでおられるジェームズ・タレル氏から設計していただく予定で、自然の光をいろいろな形で休感できるような施設になる見込みであります。

こうしたアーチストがかかわる施設を中心に、平成十二年度に実施されるのが「大地の芸術祭」であります。この催しは、世界的なイベントとなるものであり、十一年度は、住民推進委員会の活動も含め、具体的内容の検討と準備を進める予定であります。

これら一連の事業を通じて、広域連携や社会基盤の整備を進め、交流人口・定住人口の増加に努める所存であります。

また川西高校前バス停周辺について、十一年度は公営住宅三十戸の「みのり団地」の完成と周辺町の歩道整備、県道にはバスレーンが設置されます。これら環境整備に合わせ、旧土地改良区事務所をバス停を再整備し、川西高校生や団地住民の利便に供したいと考えております。

開かれた自主的
行政の推進

情報公開については、行政が所有する文書を住民の皆様へ公開し、情報を共有することにより、行政に対する理解と信頼の確保、開かれた行政の実現などを目的とするものであります。川西町においては、文書管理システムを一新するなど、情報公開に備えての準備を着々と進めてきており、この度情報公開へのスケジュールを定めたとところであります。情報公開条例案は平成十二年三月の議会に上程しご審議を賜り、同年十月一日の施行を予定しております。

行政改革としては、少子化の現状や保母の定員管理などを踏まえ、町全体を見通した中で保育園の統合に向けた検討を進めたいと考えております。

また、行政経費を削減するため、現業部門の民間委託化、旅費支給の見直し、さらに食料費や時間外勤務手当の削減を進めていく予定であります。

「尊い緑をとりもどすために」
故郷で環境講演会を開催



講演する高橋さん

三月十二日、総合センターで、緑のサヘル代表理事高橋一馬さんによる「サヘル地域におけるNGO活動」と題した環境講演会が開かれました。

高橋さんは、当町三領の生まれで、昭和三十八年川西中学校を卒業、東京農業大学農学部拓殖学科卒業後フランスで農業研修、ソマリアでの難民救援活動、マリでの植林活動を経て、平成三年NGO（非政府機関）「緑のサヘル」を創立。現在はチャド国などで活動しています。

なく、植えた木も一割程度しか育たない。厳しい自然条件や赤痢・腸チフスなどとの戦いの中で、高橋さんは三回も死にかけたと言います。

ようやく日本政府の支援体制も整ったが、計画から活動をするまでには時間がかかり、現状との不都合も生じているので、自分たちは、現場で対応が簡単にできるスタンスでやっている。自分たちが主体でやるのではなく、現地の人たちが立ち上がらなければならぬ。それが定着するまで頑張つて活動を続けていきたい、高橋さんは決意を新たに語っていました。



集まったおよそ100人は、熱心に話に聞き入っていました



① 関口 優輔
② 中央町
③ 智



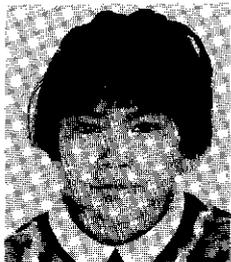
① 高橋 りほ
② 栄町
③ 肇



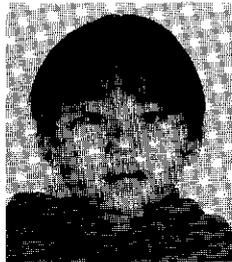
① 小林 翔吾
② 木島
③ 大三夫



① 太田 真世
② 中央町
③ 正



① 五十川みなみ
② 沖立
③ 清



① 高橋 友真
② 発電所通り東
③ 一義



① 畠山亜利紗
② 朝日町
③ 一久



① 高橋 邦浩
② 田中町
③ 勝美



① 羽鳥心之介
② 中央町
③ 宏史



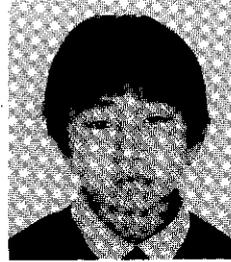
① 田中佑希穂
② 中島町
③ 亮一



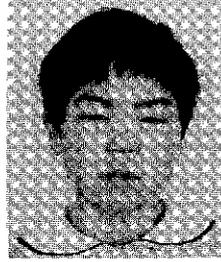
① 白井 咲貴
② 寺尾
③ 義尊



① 小林 大樹
② 栄町
③ 隆一



① 南雲 陽介
② 中屋敷
③ 守啓



① 星名 千穂
② 沖立
③ 一弘



① 太田 祥仁
② 田中町
③ 克之



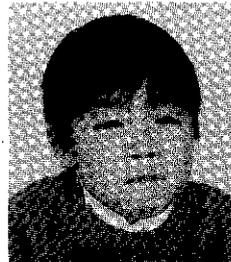
① 小林 志歩
② 中屋敷
③ 真樹



① 鈴木 美紗
② 発電所通り東
③ 勇二



① 川崎 安樹
② 朝日町
③ 正男



① 相崎 郁哉
② 沖立
③ 浩二



① 小林 希望
② 学校町
③ 順一



① 橋本 幸
② 高原田
③ 充子



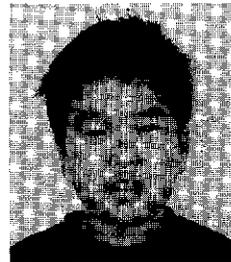
① 引間 直樹
② 高原田
③ 寿浩



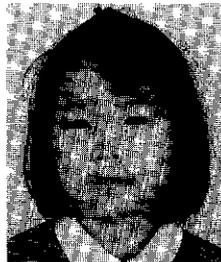
① 羽鳥 綾華
② 伊友
③ 秀之



① 平野 恭兵
② 四郎兼
③ 一幸



① 高橋 章
② 朝日町
③ 稔



① 星名 萌
② 沖立
③ 久徳

千手小学校
40人



4月5日、町内の各小学校で、入学式が実施されました。今年の1年生は、4校合わせて75人（男子32人、女子43人）です。各小学校の1年生を紹介します。敬称略・順不同①氏名②住所③保護者名



① 中村 亜希子
② 坪山
③ 亨



① 佐藤 理奈
② 高原田
③ 正利



① 蔵品 あやか
② 霜条
③ 茂昭



① 小林 直登
② 木島
③ 重則



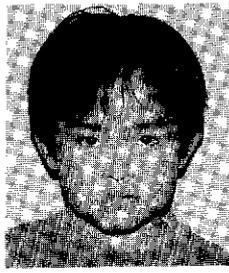
① 高橋 未来
② 鶴吉
③ 克司



① 櫃間 颯
② 伊友
③ 茂佳



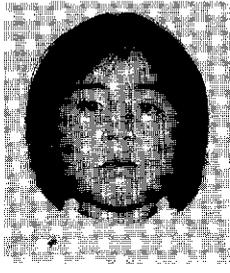
① 高橋 実弥
② 高原田
③ 克己



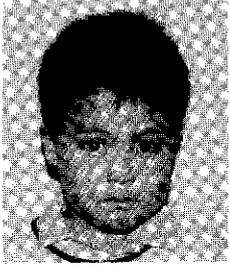
① 市川 恭征
② 高原田
③ 茂



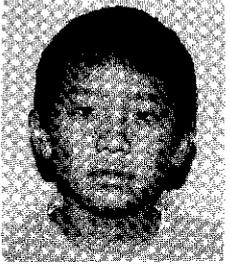
① 高橋 亜実
② 伊友
③ 十郎



① 中条 美冬
② 坪山
③ 孫幸



① 高橋 諒丞
② 東善寺
③ 勉



① 星名 陽太
② 伊友
③ 和幸



① 田村 尚樹
② 上野
③ 正夫



① 蔵品 薫子
② 元町
③ 真隆

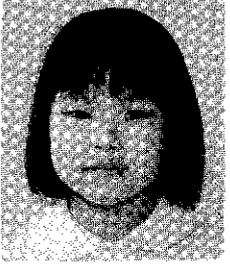


① 中嶋 香奈
② 新町新田
③ 直光

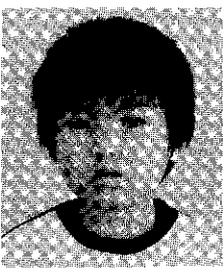
上野
小学校
16
人



① 金井 壘
② 沖立
③ 幸治



① 小黒 喜実
② 木島
③ 隆夫



① 柳 健太
② 下平新田
③ 篤



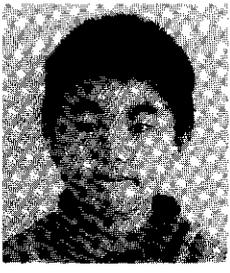
① 押木 知美
② 元町
③ 栄二



① 入沢 真弥
② 上野
③ 悟



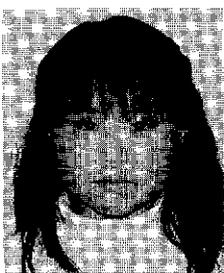
① 川崎 奈々
② 元町
③ 克夫



① 桑原 溪
② 新町新田
③ 安雄



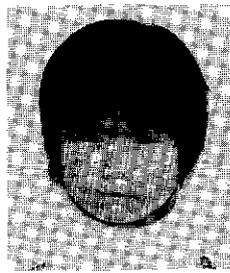
① 入沢 健太
② 上野
③ 克之



① 若山 藍佳
② 新町新田
③ 茂男



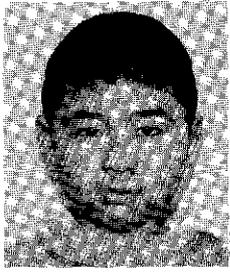
① 小海 南
② 小根岸
③ 利信



① 高橋 知美
② 三領
③ 優



① 南雲 和輝
② 上野
③ 勝



① 小島 泰平
② 新町新田
③ 了一



① 渡貫 愛佳
② 上野
③ 文人

橋
小学校

15人



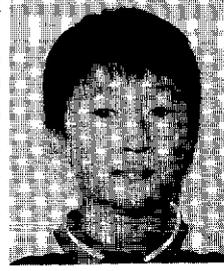
① 渡部 亜紗美
② 野口
③ 正巳



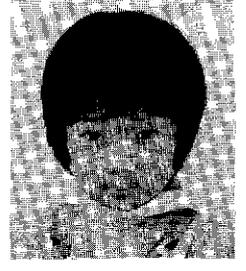
① 丸山 未彩紀
② 原田
③ 一弘



① 丸山 友浩
② 根深
③ 克浩



① 秦野 喜三彦
② 仁田
③ 昭夫



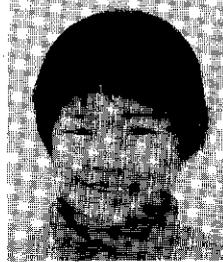
① 渡辺 綾音
② みのり団地
③ 直子



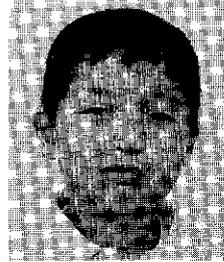
① 野沢 千明
② 野口
③ 稔



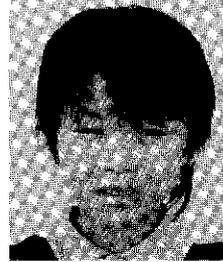
① 滋野 拳
② 野口
③ 徹



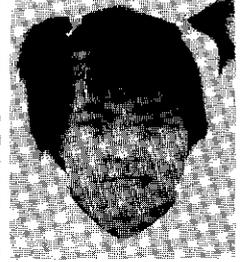
① 須藤 智美
② 仁田
③ 和男



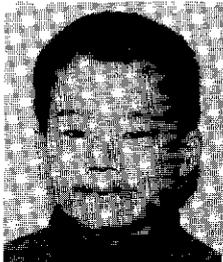
① 渡辺 泰周
② 仁田
③ 祐志



① 小幡 祐弥
② 木落
③ 正人



① 星野 美樹
② 野口
③ 優



① 和久井 冬樹
② 木落
③ 哲央



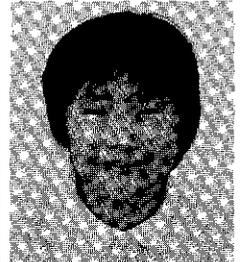
① 田中 千穂
② 野口
③ 新一



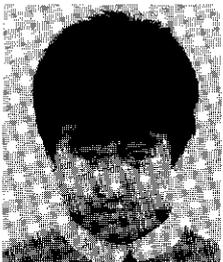
① 野沢 晴菜
② 野口
③ 浩和



① 田口 千恵
② 木落
③ 隆治



① 根津 友子
② 原田
③ 栄一



① 登坂 大地
② 岩瀬
③ 正行



① 登坂 美咲
② 岩瀬
③ 一夫



① 斉木 俊樹
② 小脇
③ 正幸



① 樋口 真央
② 中仙田
③ 弘之

仙田
小学校
4人

いっぱいともだち
できるといいネ!

わたしの入学当時

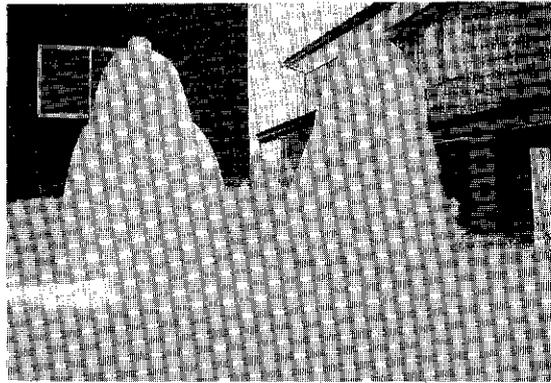
川西町教育長 小海正隆

もう五十年以上も昔の話である。戦後の混乱期の中で、新教育基本法ができた。入学直前になって、片仮名表記が平仮名に変わり戸惑った覚えがある。物資不足の中で、どんな身なりでいったのか定かでないが、ピカピカのランドセルなど、どこをさがしても見られないときだ。鉛筆、筆入れ、帳面など、どれをとっても今なら見向きもされないような代物ばかりだった。

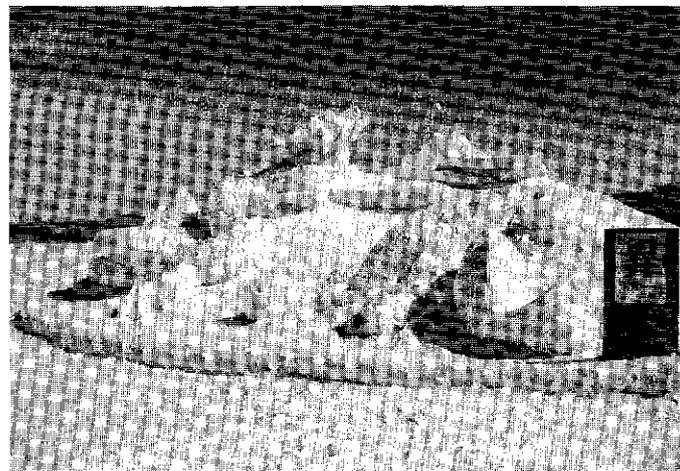
保育園があったわけでもないのに、大勢にまみえるのはこの入学式が初めてで、内弁慶のわたしには、ずいぶん苦しい学校生活の始まりだった。でも、さすがベテランの女先生だ。四十人近いクラスに愛情を一杯注ぎ、いじめ、不登校などは言葉すらない、みんな元気そのものだった。

みんないいこ おはなをかき。…… 国語の教科書を、みんな大声で読もうしたっけ。

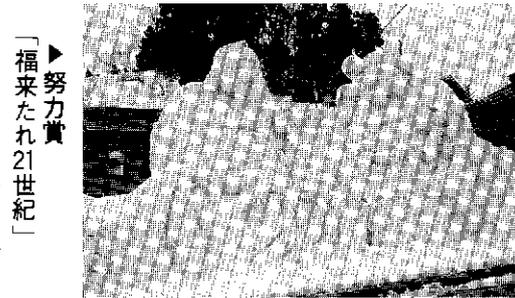
校庭に二宮金次郎の像があった。今もあるが、入学前わたしの母はつくろいものをしてながら、二宮尊徳や中江藤樹などを語ってくれた。いい子になれ、立派な人になれという、家庭における道徳教育であったか、それだけに入学式で見た、薪を背負いながら読書をする二宮尊徳の像が、強烈に目に飛び込んできたことであつた。



▲特別雪像賞「春よこい、早く来い、川西へ」
スノーレッツ



▲最優秀雪像賞 「昇」
木落三嶋会

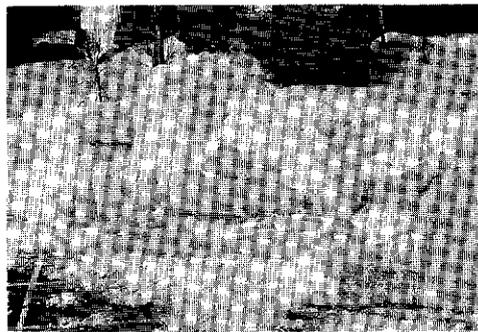


▶努力賞
「福来たれ21世紀」
白倉白進会

▶特別雪像賞
「ウルトラマンようこそ
川西へ」
上野ライスセンター



▲川西のど自慢大会
特別賞の関口さん



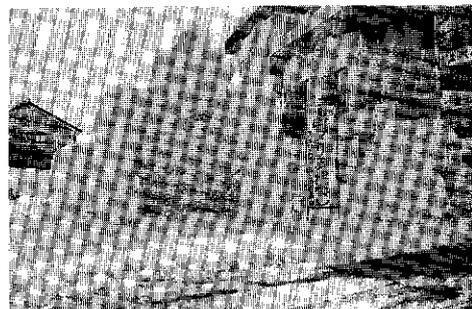
▲技術賞「最後の1600文キックで沈む
タイタニック号だっちゃんの」
役場建設課



▲ほのぼの賞
「七福人」 熊野神社神輿会



▲川西のど自慢優秀賞の
Jungle



▲アイデア賞「町づくりに待ったなし」
山野田親和会

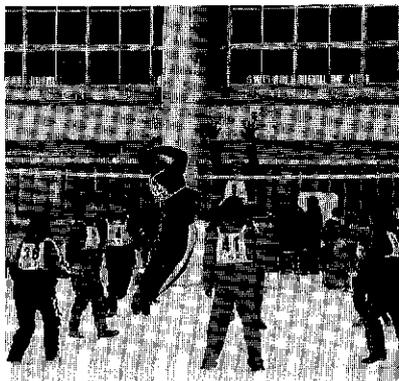


▲アイデア賞「追悼ジャイアント馬場
不滅の16文キック」 上野青年会



▲ウルトラマンショーには子供がいっぱい

▶16チームが参加し、白熱した
試合が展開されました
優勝はUSA KOでした



▲屋台村でちょっといっぶく...

賑わい空間創出事業プロポーザル競技 基本設計の設計者決定

今年一月から取り組んできた「賑わい空間創出事業プロポーザル競技」の審査会が、三月二十五日活性化センターで開かれました。この審査会の結果、平成十一年度に予定している賑わい空間創出事業の基本設計などをする設計予定者が、東京在住の内田文雄さんに決まりました。今後、内田さんに業務を委託、基本設計などの作業に入ります。

プロポーザル競技は、賑わい空間検討委員会検討結果報告を受け、町が、昨年十一月三十日に発表した基本方針に基づき、賑わい空間の中に予定している施設の配置や整備計画、施設の管理運営体制などを、指名した著名な建築家から提案してもらい、優秀な建築家一人を選出するもので、二回の審査委員会と参加者の現地説明会一回

プロポーザル競技審査委員

委員長：高橋 鷹志（新潟大学教授）
委員：横山 正（東京大学教授）・林 泰義（千葉大学客員教授）・樋口 忠彦（新潟大学教授）・十代田 朗（新潟大学助教授）・黒野 弘靖（新潟大学講師）・大平 剛士（助役）・北村 公男（議会代表）・松本 庚市（商工会長）・田村 英雄（賑わい空間検討委員会委員長）

プロポーザル競技の参加者

氏名（所属事務所等：所在地）
内田 文雄（榊龍環境計画：東京都中野区）
江藤 慎（4d studio：英国ロンドン）
中笠 博（株式会社カンパニー・シー・ネットワーク：東京都豊島区）
三井所 清典（榊アルセッド建築研究所：東京都渋谷区）
湯沢 正信（南湯沢建築設計研究所：神奈川県横浜市）
小嶋 弘一（榊小嶋建築設計事務所：新潟市）
堀井 邦彦（榊SD建築研究所：上越市）

まれることになっています。

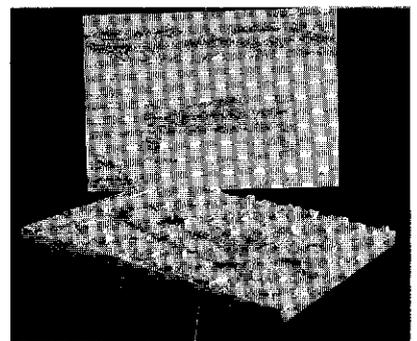
を開催。県外から五人、県内から二人が参加して実施されました。この計画づくりや設計に当たっては、より多くの町民のご意見を反映するとともに、昨年から並行して進めている中心市街地活性化施策との整合を図りながら取り組

選ばれた内田さんは、一九五二年熊本県生まれ。早稲田大学大学院終了後、榊象設計集団で建築設計、地域計画の仕事に携わる。代表作品名護市庁舎などがあります。また、一九八八年榊龍環境計画を設立。地域計画から建築設計まで、住民と行政の協働によるプロセスを大事にして仕事に取り組んでいます。現在、早稲田大学講師、国土庁地方振興アドバイザーなどを勤めています。

今回提案された作品は、活性化センター一階の展示コーナーに展示してありますので、ご覧ください。なお、施設などの提案については、あくまでも競技のために計画されたもので、実際に取り組むものは今後の作業の中で決定されます。

「ご意見・ご感想がございましたら、建設課賑わい空間推進係までお寄せください。」

選ばれた内田さんの提案作品



県内外から百人が集い

文化財ネットワーク開催

3月13日、民家や町並みの保存や活用を通してまちづくりを進めようと活動している文化財ネットワーク21（代表星名四郎さん）の研究会が、川西町上野の宮澤智士長岡造形大学教授の住宅で開かれました。

この住宅は、約二百年前に建築された民家を、重要文化財星名家住宅の裏に移築したもので、こうした民家には珍しく、高気密、高断熱構造で家中の温度がほぼ一定になっています。

価値ある民家を残そうとしても「寒い」「暗い」「雪崩りが大変」という障害があって、次々に取りこわされていく現実があって、「こわすれば快適に暮らせる」という事例のためにこの家を移築したとのこと、このほど、民家では初めて働住宅・建築省エネルギー機構理事長賞も受賞しました。

今回の研究会では、代表の星名四郎さんのあいさつのもと、「雪とくらし」と題して金子幸作川西

町教育委員長の基調講演があり、この住宅の移築・再生の設計を担当した仙台市の安井妙子さんが、民家を快適に過ごせるように再生する方法や、考え方を事例をもとに解説しました。

また、川西町沖立出身の星名康弘さんが、小脇集落や安塚町で調査した横井戸と住宅・生活サイクルの研究結果を発表し、岩瀬の金子ヒロ子さんと小白倉の江口通博さんが、仙田地区の魅力などについて報告しました。



およそ120人が集まり終始熱気に包まれていました

まちづくり活動支援事業について

昨年度まで「地域活性化プロジェクト支援事業」として、地域の自主的な地域づくり活動を助成してきましたが、平成11年度からは

「まちづくり活動支援事業」としてあらたな制度に引き継がれました。詳しくは、同時配布のリーフレットをご覧ください。

漏水を発見したらまず修理を

水道のメーターを通過したいわゆる二次側の漏水については、使用者責任の観点から、全額料金徴収の対象としてきました。しかし、配管がコンクリートなどで被覆される場所や壁の中等の通常目視による管理が十分にできない施工状況にあることや修繕費の他に多額の水道料金が必要となることなどから、一定の条件に適合した場合には、漏水量（水道料金）の一部を軽減することになりました。

漏水は、料金がかさむだけでなく、住宅への影響や水道事業全般への影響も発生します。漏水と気付いたら早めに修理をお願いします。なお、修理は川西町指定給水装置工事事業者でないと施工できないことになっています。修理工事や軽減申請手続等については、

左記事業者にご相談ください。

なお、給水装置使用者の管理責任については今ままで変わりありません。引き続き安全に衛生的にご使用ください。

◇軽減対象の起算日

平成十一年一月一日以降に発生したものです。

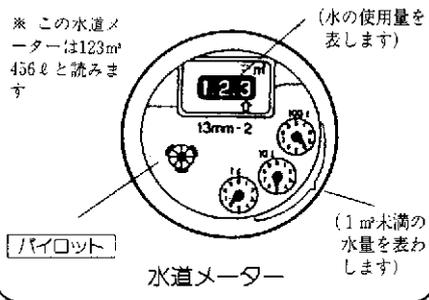
◇軽減の対象とならないもの

①使用者の故意又は過失によって水道管が破損した場合

- ②第三者の故意又は過失によって水道管が破損した場合
 - ③露出管の凍結破損や施工不良など。
- ◇申請の方法及び軽減される料金
ケースによって異なります。軽減の対象とならない場合もあります。修理工事業者又は水道係にお尋ねください。
- ◇虚偽の申請に対する罰則
申請が虚偽と判明した場合には、川西町上水道条例により過料の対象となります。十分ご注意ください。

漏水はありませんか？

漏水は、水道メーターを確認することで簡単に発見することができます。水道の蛇口を全部閉めた状態で、水道メーターのパイロットが少しでも回転していれば、どこかで漏水をしています。漏水を発見したら、指定工事業者へ修理の依頼をしてください。

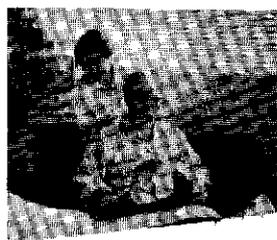


水道に関するお問い合わせは
環境整備課水道係
☎68-3111 (内線102)

(平成11年3月25日現在)

店名	電話番号
孫六商店(株)	68-4503
(株)ヒノテ	68-2511
太田水道	68-2238
(株)山松商店	68-2029
(株)北野工務店	68-2247
(株)美佐伝 川西出張所	68-2129
(株)西拓張 川西出張所	68-4062
佐藤水道	68-2776
(有)新豊住設 川西営業所	68-2352
北越上下水道(株) 川西営業所	68-2728
(有)金盛自動車工業	68-2057
山家鉄工所	68-2158
(有)魚沼鉄工所	52-2205
(株)小千谷配管設備工業	0258 83-2111
(有)和伴設備	52-5958
(有)諏訪部鉄工所	0258 86-2229
(株)クロサキ	0258 83-4512
しみず設備	68-4725
(有)富井電気	63-2970
(有)ナカ設備工業	58-4076

川西町「ちぎれ雲」上映ご案内



- 日時 4月25日(日)午後7時～(開場午後6時)
- 場所 川西中学校体育館
- 入場料 前売り500円(当日800円)
(前売り販売店: マツモト書店、清水フードセンターダイモ店)
小学生は無料。乳幼児の入場はご遠慮ください。
- 主催 川西町「ちぎれ雲～いつか老人～」上映実行委員会
- 問い合わせ先 川西町役場福祉課高齢福祉係内
川西町「ちぎれ雲～いつか老人介護～」上映実行委員会事務局
(☎68-3111 内線232)

森林の「伐採届」は市町村役場に！

森林の立木を伐採する前には届け出が必要で、従来は林業事務所へ届け出ていました。しかし、四月一日からは各市町村の役場になりました。伐採をする九十日前から三十日前までに次の事項を記入して届け出てください。

- 届け出人の住所・氏名
- 伐採する森林の地番
- 伐採する木の年齢
- 伐採する木の種類
- 伐採にかかる期間

●伐採跡地の用途

届け出の書類様式は、役場農林課にあります。

なお、保安林を伐採する場合は一ヘクタール以上の森林を伐採して森林以外に転用する場合は、事前に許可が必要となります。その場合は、別様式で林業事務所に許可を申請してください。

※お問い合わせ先
役場農林課振興係

(○)月○日～(○)月○日

(☎)68-3111 (内線331)

早創プラン 通信

4

越後妻有アートネットワークス整備事業では、メインイベントとして、平成十二年夏に大地の芸術祭を開催することになっています。この度、事業の骨子や参加アーティストのラインナップが整い、大地の芸術祭「越後妻有アートトリエンナーレ2000」として、首都圏と地域で概要発表及びシンポジウムなどを開催しました。今回は、両会場での発表の様子などについてご紹介いたします。

越後妻有アートネットワークス整備事業では、メインイベントとして、平成十二年夏に大地の芸術祭を開催することになっています。この度、事業の骨子や参加アーティストのラインナップが整い、大地の芸術祭「越後妻有アートトリエンナーレ2000」として、首都圏と地域で概要発表及びシンポジウムなどを開催しました。今回は、両会場での発表の様子などについてご紹介いたします。

首都圏での概要発表・記念シンポジウム

三月十六日、ヒルサイドプラザ（東京都渋谷区代官山）において、中央の報道・美術・行政・企業関係者や二十人の参加予定アーティスト



東京・ヒルサイドプラザで開かれた記念シンポジウム

トなど約二百人を招いて、概要発表と記念シンポジウム及びレセプションを開催しました。

概要発表では、総合コーディネーターの北側フラム氏より、第一回を平成十二年七月二十日から九月十日までの五十三日間の会期で開催すること。テーマとして「人間は自然に内包される」を掲げ、アーティストが地域住民と共同し、場所に深くかかわって作品を制作しながら、地域づくり活動に携わっていくことによって全国中山間地のモデルとなる、住みやすく美しい里山をつくることなど目標が述べられました。

次に、参加予定の世界十五ヶ国・四十五人のアーティストのラインナップと国際アートアドバイザーとして世界各地のアートディレクター六人が発表されました。アーティストは今後さらに増えて、最終的には七十人程度の参加を見込んでいます。さらに、地域六ヶ所で開催する公募作品展の概要も公表されました。野外美術展で、これほどの参加アーティストと質と量は日本では例のない事業であり、七六二平方キロメートルという広い地域を会場に、広域圏市町村が

連携して行う事業としては世界でも初めての取り組みであることが大きな特徴となっています。

記念シンポジウムは、アートの潮流と地域づくりをテーマに、中原祐介氏、中村秀樹氏（以上美術評論家）安斎重男氏（写真家）小沢一郎氏（建設省審議官）上肥真人氏（東京工業大学助教授）平良敬一氏（「造形」編集長）高山英男氏（こども調査研究所長）と当地域四首長がパネラーになり、田村和寿氏（都市計画連合アトリエ代表取締役）の司会により展開されました。「今まではアーティストが主役になりすぎていた。場所に対してアーティストは脇役として参画し、見る人のことを考えながら作品をつくっていく」、「生活が営まれている場所では、アーティストとのコミュニケーションが図られることが大切。地域開発と参加、アーティストの三つの要素がどのように組み合わされていくか。相互に与え合い、支え合えるかが重要」など、いろんな確度から意見が出されました。

地域での公開プレゼンテーション

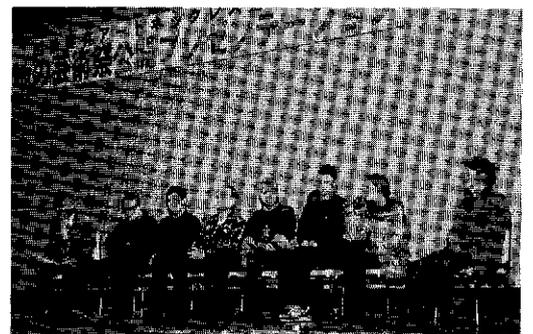
三月十七日、クロス10で、当地域における記者発表と公開プレゼンテーションおよびラフデザインなどの展示が行われ、五百人が入場しました。

本田実行委員長は「広域的なア

ートを生かした地域づくりは全国でも初めて、二十一世紀に向けた時代を先取りした取り組みであり、越後妻有から世界に向けて新しい風を起こしていきたい。環日本海圏の一大イベントになるものと期待している」とあいさつ。

会場には七人の参加予定アーティストも見え、そのうちの一人、大久保英治さんは「今までに経験のない景観で意欲的になっている。喜んで参加したい」。ジャンさん（フランス）は「博物館で縄文土器などを見学したが、五千年も前に革命的な文化が発達していたことを発見した。私たちの持っているすべてのエネルギーを注ぎ、住み心地のよい場所をつくるために協力できればと考えている。皆さんと一緒に、土地の歴史や景観をそのまま生かした場所をつくりあげていきたい」など抱負が述べられました。

続いて、見城美枝子さん（青森大学教授、エッセイスト）によるアートネットワークス整備事業に寄せた特別講演が行われました。見城さんは「リピートに失敗している例を見ると、思い切ったやっつけていない。ちよつと彫刻を置くとか、一回終わってしまつと、二度三度訪れたいという気持ちにならない。この企画はスケールが大きいことが魅力的。でも、皆さんの協力がなくしてはできない。これが未来に向かって突き抜け、広がっ



公開プレゼンテーションでのアーティスト紹介

ていくことを期待します。日本の新潟県の中の妻有でなく、世界のあらゆる国と直接妻有が繋がっていて、ここで初めて日本の素晴らしさを知ってもらう、日本を代表するくらい白い白負と心構えが必要。海外から妻有を眺めるという感覚を持つと、ステキなものが発見できるのではないかと、地域の応援団として貴重なお話をいただきました。

会場には、大地の芸術祭の一部の作品イメージデザインが展示され、この冬、地域内の小・中学校で先行して取り組まれたステキ発見「小・中学生の5000人の写真騒動」による十三校二百八十九作品が「のきさき美術館」として展示されました。

※問い合わせ先

十日町地域広域事務組合
企画振興課（☎57-2637）

不寝見が川西を行く

岩瀬 金子 幸作

高志国と魚沼郡

「川西町史」を参照に、昨年十二月号で紹介した「日本書紀」大化二年(六四六)の記事を掘り下げてみることにした。わが国で最初に誕生した統一政権(大和朝廷)は、四一五世紀までに東北地方のぞく日本本土の大半を統一し、やがて、東北のまつろわぬ者共を討ち平げるが、「是歳越国鼠晝夜相連向東移去」の記事は、そのさいの進軍の様を伝えているように思われる。

越は高志とも書き、今の越前(福井)から越中(富山)、越後(新潟)、羽後(山形の一部と秋田)までの総称であった。高志国が越前、越中、越後の三国に分かれたのは七世紀の終わりのころである。大宝二年(七〇二)に律令国家が越中国の四郡(頸城・古志・魚沼・蒲原)を割いて越後国に移管し、魚沼地方はこの時から越後国に属したようである。魚沼郡が設置されたのは大化改新(六四五)後まもない時期で、「倭名類聚抄」によると、平安時代(七九四一―一八五)の魚沼郡は賀弥(上田庄・南魚)、那珂(妻有郷・中魚)、

新上(藪上・北魚)、千屋(小千谷地方)に分かれていた。

黄色の煙あがる

鼠は小動物のネズミでなくて不寝見と書くのが正しく、不眠不休で周囲を警戒する不寝番の兵隊を指す。この兵士たちは東北平定のために進軍する部隊の最前線に立ち、斥候の役目を果たしながら敵状を本隊に報告し、手向う者が居ないと火を焚いて「黄色の煙」を立ち昇らせ、「ここまでは来てもよろしい」と合図しながら進軍したようである。

大化三年の記事に「淳足棚を造りて棚戸を置く、老人等相かたりていわく、数年鼠の東に向いて行くは、これ棚(敵を防ぐ構築物)を造る兆か」とあることから、大和朝廷に帰順した越後の兵隊が討軍を道案内しながら、夜昼となく列をなして東へ、東へと進んで行ったことが想像に難くない。東北征伐といえは北に進むことになり、「向北移去」と記さねばならないのに、「向東」と記したのはなぜだろう。「当時はまだ四方(東西南北)の区別ができず、日本列島の東と

いえば北を指すことも意味した」と一志茂樹元開智学校長(松本市)は指摘される。

御坂峠に飛ぶ火

大和政権の軍隊は、信濃白馬から松之山の深坂(三坂)峠を越えて妻有郷に入ったことになる。川西町のどこを通ったかは不詳だが、現在の国道二五二号線に沿って堀之内へ出、小出を経て破間川を北行し、八十里越えから会津盆地へ進軍したのではあるまいか。

深坂峠は、「都から来た身分の高い人の通る坂」であることから名付けられたといい、本来は「御坂峠」と書くのが正しいとされる。峠は、高貴な御方が通行するたびに手を合わせて拝んだことから「手向け」と名付けられたが、鎌倉期以後に峠と書くようになったと言う人もある。

十日町市中条飛渡の地名には烽火、飛ぶ火の意味がある。魚ノ田川集落の東方に存在する三坂峠(稲倉を経て堀之内へ抜ける)の真上あたりで、不寝見の兵隊が黄色の煙を上げたことから名付けられたのかも知れなかった。

節黒山頂で周囲の山なみを追うと、狼煙台があったと伝わる野口城を始め、どの山の峯に煙が上がってもおかしくない尾根が連なっている。このルートに次つぎと立ち昇る黄色の煙を見て、意気軒昂

と東北征伐に向かった兵どもの顔がうかんでくる。

神武天皇と金の鶏

大和朝廷の軍隊は、どこの戦でも不寝見に黄色の煙を上げさせながら進軍したようである。戦前の尋常小学国史上巻の「神武天皇」に次の記述がある。

天皇河内より大和に入らんとしたまひしに、わるものどものかしら長髓彦といふもの勢強く、御軍をふせぎて入れたてまつらず、よりにて天皇道をかへて、紀伊より大和に進まんとしたまふ。其のあたりは、山高く谷深く道なきところも多かりしが、天皇は之をものともしたまはず、飛行く鳥をしるべとし、兵士を上げまし、道をひらかせて、ついに大和へ入りたまへり。かくして、しだいにわるもの

どもを平げ、ふた、び長髓彦を討ちたまふ。しかるに、長髓彦の手下のものども力のかぎり戦ひければ御軍たやすく勝つこと能はざりき。時に一天にはかにかきくもりて、雹降りいだし、いづくより飛来りしか、金色の鶏天皇の持たたまへる御弓のさきにとまり、其の光の強くかゝりきたるに、わるものどもは目くらみてまた戦うこと能はず、つひに大いにやぶれ、長髓彦もついでころされたり

長髓彦は黄煙を見た

金の鶏は、実は「黄色の煙」だった。長髓彦は、神武天皇の弓の先に止まった金の鶏の威光に恐れをなしたのではなく、不寝見が立ち昇らせた「黄色の煙」を見て「もう駄目だ」と観念したという説が真実に。

長髓彦が降参したあと、神武天皇は宮を畝傍山の東南檀原に建てて御即位の礼を行ない、この年をわが国の紀元元年と定めた。毎年二月十一日を紀元節としたが、戦後は建国の日となって現在に至る。

金鶏の神話に肖って、金鶏勳章が明治二十三年に制定され、武功拔群の陸海軍人へ下賜された。功一級から功七級まであり、終身年金を伴ったが昭和十六年に一時金に改定、終戦で廃止された。



尋常小学国史上巻 神武天皇(抜)

米穀販売業の
登録・更新を!

コメの販売を行う小売業を営業する場合は、食糧法に基づき登録が必要で、

また、平成8年6月に登録された方で、引き続きコメの販売を行うおとす方は、今回、更新登録の申請を必要があります。

◆登録申請時期

平成11年4月30日(金)まで

◆申請場所

魚沼農政事務所

〒946-0004

北魚沼郡小出町大字大塚新田91

―4 新潟県小出合同庁舎内

◆申請手数料

新規登録及び更新登録どちらも新潟県収入証紙で一店舗九千円、以降一店舗増すごとに五千円ずつ加算した額が必要です。

◆その他

- (1) 申請用紙は農政事務所のほか、役場農林課にもあります。
- (2) 次回の新規登録は9月16日から受け付けます。

※問い合わせ

新潟県魚沼農政事務所 経済課

☎02579-2-4211へ。



5月4日は山菜まつりへ

山の恵を味わう会として人気の高い「仙田山菜まつり」。山菜取り体験や山菜料理のフルコースなど、今年も盛り沢山でお待ちしています。

詳しくは、同まつりのチラシをご覧ください。

- ◆期 日 5月4日(火)
- ◆参加費 3,000円
- ◆会 場 仙田小学校体育館及び仙田地域の山野

平成11年度の
福祉タクシー利用券を交付します

- ◆対象者 ①身障手帳1～3級をお持ちの方。ただし、3級は下肢及び体幹障害の方のみ。
- ②療育手帳Aをお持ちの方。

- ◆交付日 4月1日から
- ◆交付場所 福祉課 社会福祉係

※身障(療育)手帳、印鑑をご持参ください。

平成11年度 自衛隊幹部候補生採用試験

★受験資格

- ・昭和49年4月2日～53年4月1日の間に生まれた者で、大学卒業程度の学力を有する者。
- ※学校教育法による大学院修士課程修了者(見込みを含む)については、昭和47年4月2日以降に生まれた者。

★受付期間 4月7日(水)～5月14日(金)まで

★試験日 5月29日(土)・30日(日)

★問い合わせ・申し込み

自衛隊新潟地方連絡部長岡出張所
〒940-0082 長岡市千歳1丁目3番27号
(☎0258-33-0256)

医療機関が充実します

4月下旬、山野田内に脳血管障害・老年期うつ病などを専門領域とする医院(江口孝院長・新潟市生まれ・45歳)が開業します。当町の医療機関の充実や、交通手段でお困りになっていた方にとっては、朗報と言えます。

江口さんは、神経内科や精神保健を専門とし、昭和62年4月から平成3年3月までは中条病院院長として、また、平成3年4月から11年3月までは上村病院第3内科医長として活躍されています。

新入学児童の皆さん

交通事故に気をつけて

新潟県・町・日本赤十字社新潟県支部では、新入学児童の交通安全を願って毎年黄色い交通安全帽をお配りしています。

また、町交通安全協会(鈴木義一会長)からは、ランドセルカバーをご寄贈いただきました。この品は、昭和五十五年から継続して寄贈していただいているもので、各小学校を通じて、入学を心待ちにしている児童に手渡されました。



鈴木会長(左)からランドセルカバーを受け取る小海教育長

水中運動教室ご案内

- ◆実施期間 5月～12年3月 毎週火・水・木曜日のいずれか 午前10時30分～11時30分
- ◆実施会場 ベルナティオ フォーラムセンタープール (マイクロバスで送迎します)
- ◆募集人員 100人 (定員になり次第締め切ります)
- ◆参加費 施設使用料840円(毎回)(年間券10,000円も有り) 障害保険料1,400円(初回のみ) (ベルナティオ会員は障害保険のみ)
- ◆申込期間 4月12日～20日
- ◆その他 申し込みなど、詳しくは保健係へ ☎68-3111 (内線207・208)

医療費が変わりました

4月1日から、老人医療費と県単5医療の一部負担金が変わりました。

- ◇老人医療（70歳以上の方の医療）
- ◇県単5医療（県老、県障、県親、県乳、県幼）
 - 外来（1日につきく1月4回まで） 530円
 - 入院（1日につき） 1,200円

※詳しくは、役場住民課（☎68-3111）へ。

お世話になります

役場のニューフェイス

四月一日付けで事務職二人を採用しました。写真上が農林課振興係 大海隆（霜条）、下が税務課住民税係 大久保喜弘（野口）です。よろしくお願いします。



かわにし 俳壇 高崎正風選

落の薑味噌に大地のいぶきかな
読経の鐘の余韻や彼岸寺
新町新田 若山 向山
点滴のもてあましたる日永かな
啓蟄や堀り出されたる焼却炉
野口 野沢 寅生
故郷の思い出多き菜飯食ふ
うしろ手に拳を組んで麦を踏む
練馬区 須藤 遊人
雪割草はめて置き行く葉売り
整然と白鳥北をめざしけり
小白倉 田中 優美
戴きし露の裏揚げ佛前に
福寿草忘れし場所に咲いており
綾瀬市 野沢ますえ
力作の句を蘭玉に吊しけり
犬の舌真赤に垂れて雪の原
元町 金子 鉄平
三山を望む菩提寺お彼岸会
日向ぼこ孫と絵本を読みにけり
岩瀬 登坂伊智子
卸したる雪堀り割って彼岸寺
春眠の目覚め明るき障子かな
高倉 齊木 和人
御佛の花を替えたる彼岸かな
雪割草鉢に育て、咲かせあり
大倉 中條 石平
春の雪すべてのものに二寸ほど
生なまし雪崩の跡の見ゆる出湯
下平新田 清水きよし

分け合って飲む缶ジュース野良の春
青き穴馬鈴薯植うる嫩光る
八王子市 松浦 サク
風に揺れ水に届かぬ猫柳
春の夜の割烹着より鮎ころげ
田中 石澤 澄代
ポケモンの風船買ひし雪祭り
幼等も朝課に並び春彼岸
寺尾 白井すみい
煮て揚げて夕餉の卓の露の臺
冬囲い早く解けよと花開く
野口 村越 由喜
野良で食う弁当うまし揚雲雀
虚子句碑に立てば初音の間近より
霜条 大海 白涛
落の薑昨日の話また今日も
霜条 星名 星光
ランドセル背中で光る入学児
四郎兼 平野 恵春
祇土寺を抱いて小倉山笑ふ
上町 高橋 願似
春いまだカラスも泣かぬ寒さかな
元町 田畑 吉治
春泥の単線駅や汽笛鳴る
足立区 涌井ハル子
山肌の大きく見えて彼岸入り
赤谷 小林 哲
鼻唄の厨妻なり水温む
山野田 藤田ひろ志
野に咲いてこそ地ざくらの香々わしき
浦和市 登坂 博史
梅一輪はや蜜蜂の来ておりぬ
小白倉 江口みゆき

休日救急医

4月11日	川西町診療所 (高原田)	☎68-2034
"	上村病院 (中里村)	☎63-2111
18日	庭野医院 (寿町)	☎52-2711
25日	第二藤巻医院 (上野)	☎68-2018
"	津南病院 (津南町)	☎65-3161
29日	山口医院 (袋町)	☎52-2174
5月2日	大熊内科医院 (山本町)	☎52-7066
3日	池田医院 (本町西)	☎52-2581
4日	田中外科医院 (田中町)	☎52-2403
5日	大島医院 (川原町)	☎52-2957
9日	山口医院 (下条)	☎55-2003
"	上村病院 (中里村)	☎63-2111

いっしょに遊ぼう！

親子の集い

新町新田と下平新田で、冬期間保育園に入園する前の子供とお母さんおばあちゃんが集落センターで遊びと交流を持っています。

新町ペンギンクラブでは、十月〜四月に週一回、下平では、十一月〜三月に月二回、子育て中のお母さんや母子保健推進員さんが中心になって遊びの場をつくっています。

公園などで遊ぶことのできない冬季に広い場所で大ぜいで遊ぶことは、子供も仲良くなったり、親同志のコミュニケーションの場であったり、おばあちゃんから教え

てもらったこともあったりして、とても楽しみにされている場です。積木・ボール・引き車など遊具は住民課で貸し出していますが、その他ダンボール、折紙、粘土など子供たちに合わせて工夫しておられます。

子供は、大人や友達と楽しくてわくわくしながら遊ぶのが大好きです。町でも月一回すくすく教室を開催していますが、このように身近なところで遊びの場や集いが持たれると、子育てが楽しくなると思いますし、支援していきたいと思えます。



新町新田(上)と下平新田(下)で開かれている集いから

戸籍の窓から

たかきごころ円満に

田 辺 智 広 神社町
 水 沢 綾 子 長岡市
 中 川 喜 彦 仁 田
 大 島 弥 生 十日町市

うぶ声—おすこやかに

小 林 春 輝 義 文 中島町
はるき
 滝 沢 遼 達 徳 栄 町
りょう

川 西 町 長 選 挙 川西町議会議員補欠選挙

川西町選挙管理委員会（和久井 守委員長）は、7月9日に任期満了となる川西町長選挙及び同時に行われる川西町議会議員補欠選挙の日程を次のとおり決定しました。

投票日 6月20日(日)
 告示日 6月15日(火)

鈴木 都 寛 紀 子 新町新田
さとしひろ
 昇天—ごめい福を祈る

羽鳥 ケン 66(松八)木 落
 内山 ウメノ 70(健)上 野
 中村 辰雄 71(庄平)大白倉
 清水 トノ 80(定司)下平新田
 渡貫 正徳 88(正一)新町新田
 清水 武雄 90(節雄)学校町
 市川 トウ 98(信二)田中町
 (3月1日〜31日 届け出分)



表紙の写真

三月六日、七日と第十三回かわにし雪まつりが総合体育館協賛特設会場で開催され、延べ五千人がいろいろ催しを楽しみました。

六日の前夜祭では、新企画「川西のど自慢大会」が登場。また、アマチュア無線クラブによる公開運用や豪華賞品が当たる大抽選会が実施され、屋台村も大にぎわい。

七日は、雪上ソフトバレーボール大会、羽根けえし世界選手権大会、川西版これぞできたろう？万円、逆バンジージャンプ、ウルトラマンヒーローショーのほか、去年から始まった「10人11脚レース」の楽しいパフォーマンスは観客を沸かせました。

ちいさな展覧会

127



「僕の学校」
5年生 村越大樹くん



「かわいいゆきだるま」
1年生 わくいみほさん



「ちよと馬」
6年生 丸山亜由美さん



「ぼくのかまくら」
3年生 相馬隆志くん



「宇宙の空」
6年生 渡辺明子さん



「花畑の子犬ちゃん」
4年生 星野千里さん
 「たのしいな」
2年生 山崎和美さん



橘 小学校

(5月号は仙田小学校です)